

第34回 医療情報学連合大会で発表いたしました。  
期日：2014年11月7日

ご利用者に安心して安全に運動していただくことを目的に、  
ジョイリハで行っている3時間の運動プログラムのエビデンス(証拠)の構築を行っております。

今回の9報ではこれまで8報までの報告をまとめたものを発表致しました。

- ①これまでの研究の成果(サービス利用の効果)
- ②運動機能評価の課題
- ③認知症予防介入試験について

大きくこの3つについて報告致しました。

【タイトル】

機能訓練デイサービスのあり方に関する研究(第9報) - これまでの成果と課題、今後の展望 -



第34回医療情報学連合大会  
2014年11月6日(木)～8日(土)  
千葉：幕張メッセ国際会議場

## 「機能訓練専門デイサービス」の効果検証 — これまでの成果と課題、今後の展望 —

○大金 朱音<sup>1)</sup>  
今井 悠人, 岡本 将<sup>2)</sup>  
島田 裕之, 篠崎 尚史, 鈴木 隆雄<sup>3)</sup>

- 1) 至誠館大学
- 2) 株式会社ウェルネスフロンティア
- 3) 国立長寿医療研究センター

①これまでの研究の成果(サービス利用の効果)

## 機能訓練専門デイサービスの利用効果

- 運動機能全般の維持・改善に有効。
- 利用が長期化すると運動機能の改善効果が低くなるため、長期利用者に効果的なプログラム開発が必要。
- 現状の運動プログラムは、主に、血管系疾患者の運動機能改善に有効。
- 男性の運動プログラムでは、血管系疾患に対応する工夫、女性の運動プログラムでは運動器疾患に対応する工夫が必要。
- 介護度の維持・改善にも有効

### ②運動機能評価の課題

## 要介護認定者の運動機能評価の課題

介護認定者の運動機能評価を行うときには、

### 課題

- 測定時：「**歩行装具使用者**」と「**非使用者**」が同時に評価できる運動機能測定法の開発が必要。

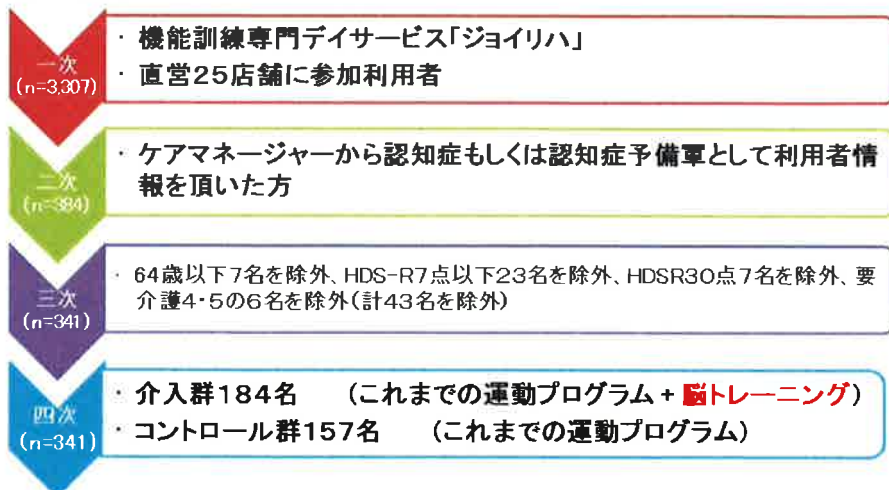
### ポイント

- 評価時： 同じ運動機能測定法で測定を行った場合でも、評価時には、解析対象者を「**歩行装具使用者**」と「**非使用者**」とに分ける手続きが必要。
- 「**歩行装具がとれた方**」と、「**歩行装具はとれなかったが運動機能の記録が維持向上した方**」  
⇒「**運動機能が維持・向上した方**」として同じカテゴリーにまとめる。

### ③認知症予防介入試験について～新たな取り組み～

# 機能訓練デイサービスでの 認知機能低下予防介入試験

## 対象者選定



➤介入対象者(n=184)

➤今年8月より介入開始し、現在も続行中



今後引き続き研究、発表を行ってまいります。

データ収集と写真の開示にご協力くださいましたご利用者様に感謝いたします。

また、今回ご協力くださいました先生方には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

国立長寿医療研究センター 鈴木隆雄先生、島田裕之先生、篠崎尚史先生

至誠館大学 大金朱音先生

今後ともどうぞよろしくお願いたします。



第34回医療情報連合大会  
2014年11月6日(木)～8日(土)  
千葉:幕張メッセ国際会議場

# 「機能訓練専門デイサービス」の効果検証 — これまでの成果と課題、今後の展望 —

○大金 朱音 1)

今井 悠人, 岡本 将 2)

島田 裕之, 篠崎 尚史, 鈴木 隆雄 3)

1) 至誠館大学

2) 株式会社ウェルネスフロンティア

3) 国立長寿医療研究センター



# 機能訓練専門デイサービスの利用効果

- 運動機能全般の維持・改善に有効。
- 利用が長期化すると運動機能の改善効果が低くなるため、長期利用者に効果的なプログラム開発が必要。
- 現状の運動プログラムは、主に、血管系疾患者の運動機能改善に有効。
- 男性の運動プログラムでは、血管系疾患に対応する工夫、女性の運動プログラムでは運動器疾患に対応する工夫が必要。
- 介護度の維持・改善にも有効

# 要介護認定者の運動機能評価の課題

介護認定者の運動機能評価を行うときには、

## 課題

- 測定時：「**歩行装具使用者**」と「**非使用者**」が同時に評価できる運動機能測定法の開発が必要。

## ポイント

- 評価時： 同じ運動機能測定法で測定を行った場合でも、評価時には、解析対象者を「**歩行装具使用者**」と「**非使用者**」とに分ける手続きが必要。
- 「**歩行装具がとれた方**」と、「**歩行装具はとれなかったが運動機能の記録が維持向上した方**」  
⇒「**運動機能が維持・向上した方**」として同じカテゴリーにまとめる。

# 機能訓練デイサービスでの 認知機能低下予防介入試験

## 対象者選定

一次  
(n=3,307)

- ・ 機能訓練専門デイサービス「ジョイリハ」
- ・ 直営25店舗に参加利用者

二次  
(n=384)

- ・ ケアマネージャーから認知症もしくは認知症予備軍として利用者情報を頂いた方

三次  
(n=341)

- ・ 64歳以下7名を除外、HDS-R7点以下23名を除外、HDSR30点7名を除外、要介護4・5の6名を除外(計43名を除外)

四次  
(n=341)

- ・ 介入群184名 (これまでの運動プログラム + **脳トレーニング**)
- ・ コントロール群157名 (これまでの運動プログラム)

➤ 介入対象者(n=184)

➤ 今年8月より介入開始し、現在も続行中